# 情報理論08

#### 藤田 一寿

津山工業高等専門学校情報工学科 講師電気通信大学先進理工学科 協力研究員

#### (単純) マルコフ情報源

時刻iにおける出力文字Xiが発生する確率が、一つ前の文字X<sub>i-1</sub>にだけ依存する情報源を(単純)マルコフ情報源と言う。文字X<sub>i-1</sub>の生起確率P(X<sub>i-1</sub>)は

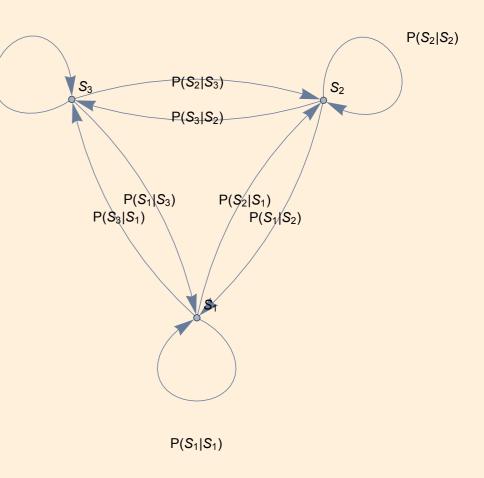
$$P(X_i) = P(X_i|X_{i-1})$$

となる。よって、文字列 $X^N$ の同時確率 $P(X^N)$ は

$$P(X^{N}) = P(X_{1}, X_{2}, ..., X_{N-1}, X_{N})$$
  
=  $P(X_{N}|X_{N-1})P(X_{N-1}|X_{N-2})...P(X_{2}|X_{1})P(X_{1})$ 

#### マルコフ情報源

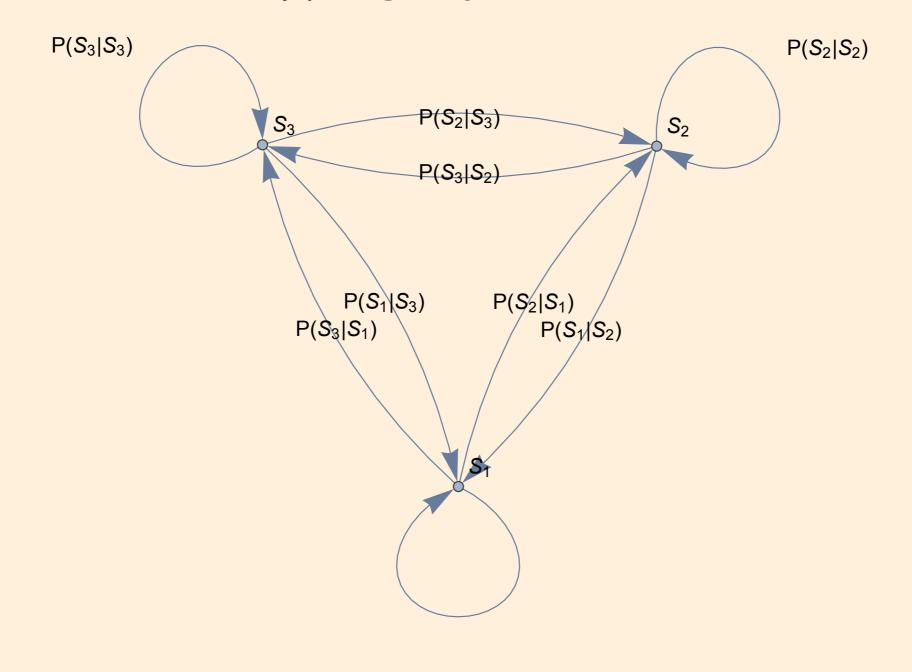
- 内部状態をいくつか持つ
  - ▶ 内部状態をS1, S2,…,Snと表す
- 状態は確率的に変わる
- ・ 状態S1からS2に変わるとき文字 が発生する
- ・ 状態の移り変わりを状態遷移図で 表す



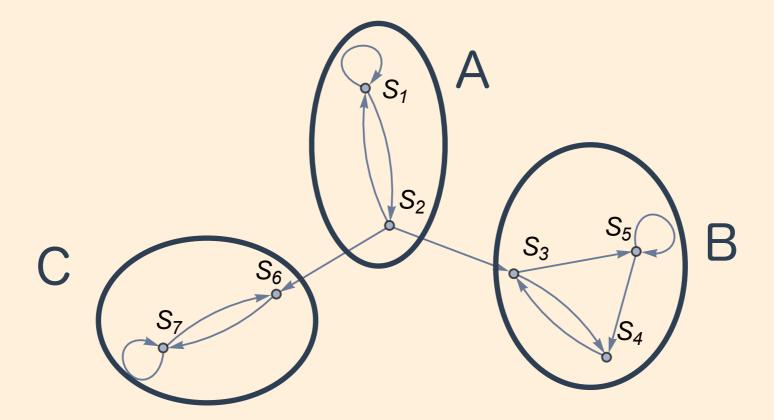
 $P(S_3|S_3)$ 

### マルコフ連鎖

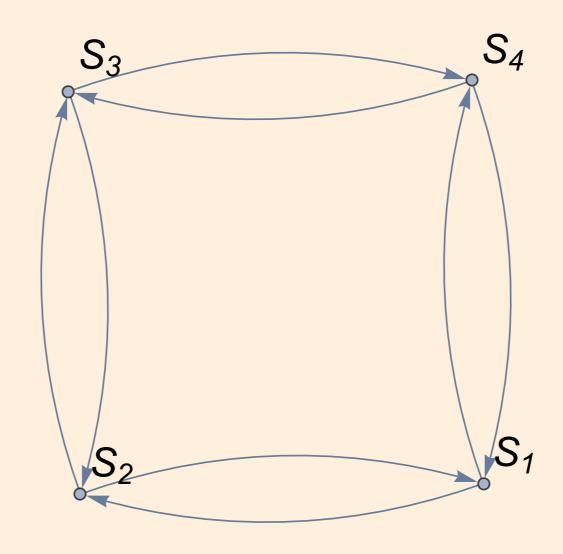
現在の状態に依存して、確率的に状態が遷移していく過程をマルコフ連鎖と呼ぶ。



- **,** 閉部分集合
  - ・他の状態に遷移できない部分集合 (BとC)
- 強連結成分
  - ・ 必ず他の状態に遷移できる部分集合 (BとC)
- ▶ 消散部分
  - ▶ 留まる確率が 0 いずれになるの状態 (A)
- 分解不可能
  - ・全体が一つの強閉部分集合からなる (Bだけ、Cだけなら分離不可能)
  - 今後は分離不可能なマルコフ連鎖を取り扱う



#### 周期的連鎖



時刻1のとき状態S1であったとすると、 時刻が偶数の時状態はS2かS4であり、偶数の時S1かS2で ある。

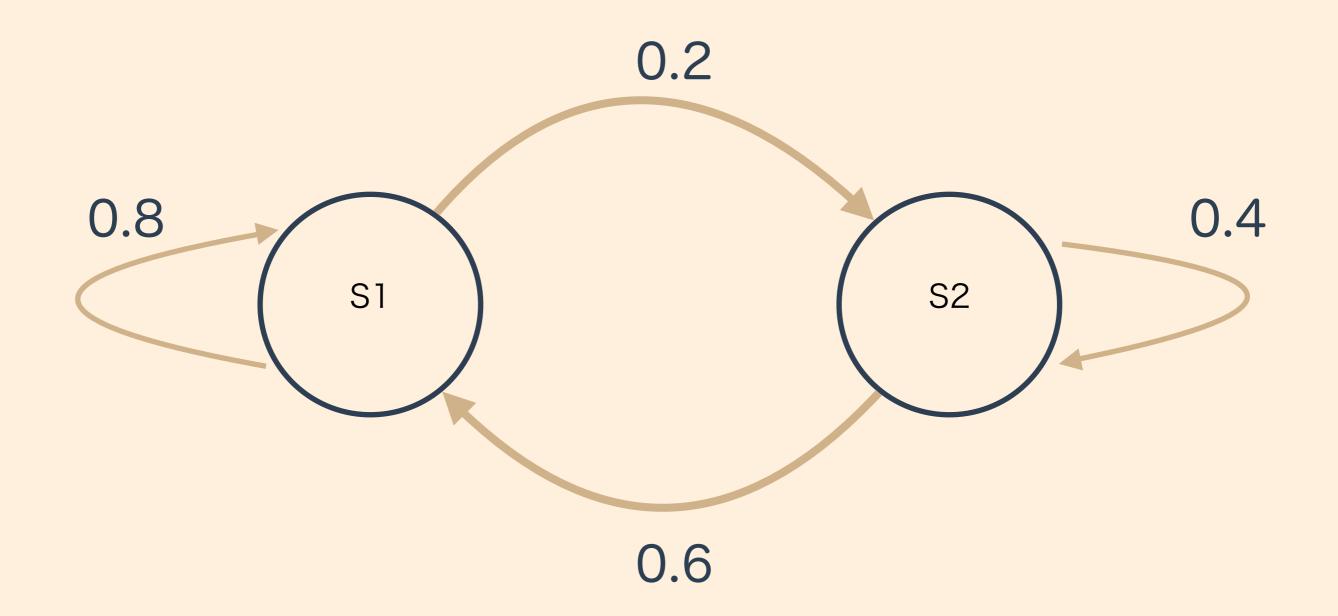
## 遷移確率行列

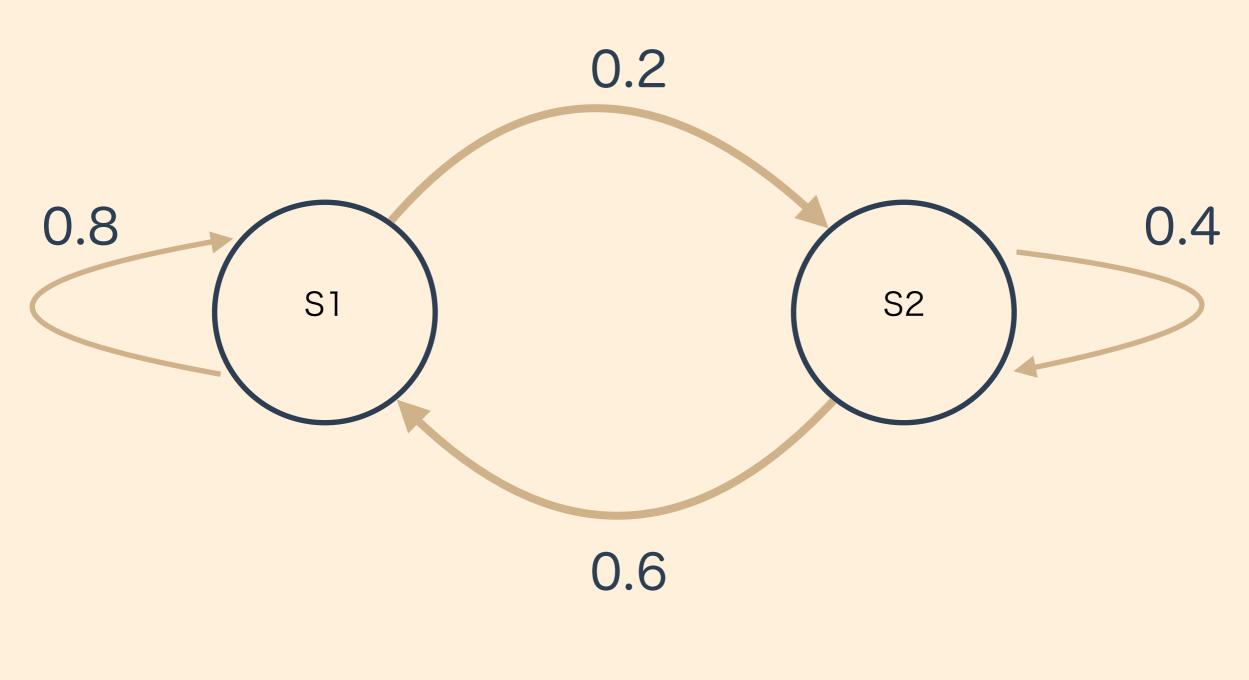
- ・状態を遷移する確率を表す行列
- SαからSβの状態に移動する確率の一覧

$$S_{1} \quad \dots \quad S_{\beta} \quad \dots \quad S_{\gamma}$$

$$S_{1} \left(\begin{array}{cccc} p_{11} & \dots & \dots & p_{1\gamma} \\ \vdots & \ddots & & \vdots \\ \vdots & \ddots & & \vdots \\ P = S_{\alpha} & \vdots & & p_{\alpha\beta} & \vdots \\ \vdots & & & \ddots & \vdots \\ S_{\gamma} & p_{\gamma 1} & \dots & \dots & p_{\gamma\gamma} \end{array}\right)$$

# 2つの状態の例





$$P = \begin{pmatrix} p_{11} & p_{12} \\ p_{21} & p_{22} \end{pmatrix}$$
$$= \begin{pmatrix} 0.8 & 0.2 \\ 0.6 & 0.4 \end{pmatrix}$$

#### PにPをかけてみる

$$P^{2} = \begin{pmatrix} p_{11} & p_{12} \\ p_{21} & p_{22} \end{pmatrix} \times \begin{pmatrix} p_{11} & p_{12} \\ p_{21} & p_{22} \end{pmatrix}$$
$$= \begin{pmatrix} p_{11}^{2} + p_{12}p_{21} & p_{11}p_{12} + p_{12}p_{22} \\ p_{11}p_{12} + p_{21}p_{22} & p_{22}^{2} + p_{12}p_{21} \end{pmatrix}$$

$$P^2 = \begin{pmatrix} p_{11} & p_{12} \\ p_{21} & p_{22} \end{pmatrix} \times \begin{pmatrix} p_{11} & p_{12} \\ p_{21} & p_{22} \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} p_{11}^2 + p_{12}p_{21} & p_{11}p_{12} + p_{12}p_{22} \\ p_{11}p_{12} + p_{21}p_{22} & p_{22}^2 + p_{12}p_{21} \end{pmatrix}$$
0.2
$$0.4$$
S1からS1に遷移し、
$$0.6$$

S1からS1に遷移し、 さらにS1に遷移する

$$P^2 = \begin{pmatrix} p_{11} & p_{12} \\ p_{21} & p_{22} \end{pmatrix} imes \begin{pmatrix} p_{11} & p_{12} \\ p_{21} & p_{22} \end{pmatrix}$$
 $= \begin{pmatrix} p_{11}^2 + p_{12}p_{21} \\ p_{11}p_{12} + p_{21}p_{22} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} p_{11}p_{12} + p_{12}p_{22} \\ p_{22}^2 + p_{12}p_{21} \end{pmatrix}$ はじめに S1 S1 S1 S1 S1 S2 S2 S2 S2

#### 無限回遷移するとどうなる?

$$P^{\infty} = \lim_{n \to \infty} P^n$$
 が存在する。

$$P^{\infty} = \left[ egin{array}{c} oldsymbol{u}^{
m T} \ oldsymbol{u}^{
m T} \ oldsymbol{u}^{
m T} \end{array} 
ight], oldsymbol{u} = \left( egin{array}{c} u_1 \ u_2 \ oldsymbol{dagger} \ u_r \end{array} 
ight)$$

P™は同一の列ベクトルuから成る。

uは次の条件を満たし、一意に決まる。

$$u^{\mathrm{T}}P=u^{\mathrm{T}}$$
 uを定常確率(分布)という

$$\sum u_i = 1, u_i \ge 0$$

$$\begin{pmatrix} u_1 & u_2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0.8 & 0.2 \\ 0.6 & 0.4 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} u_1 & u_2 \end{pmatrix}$$

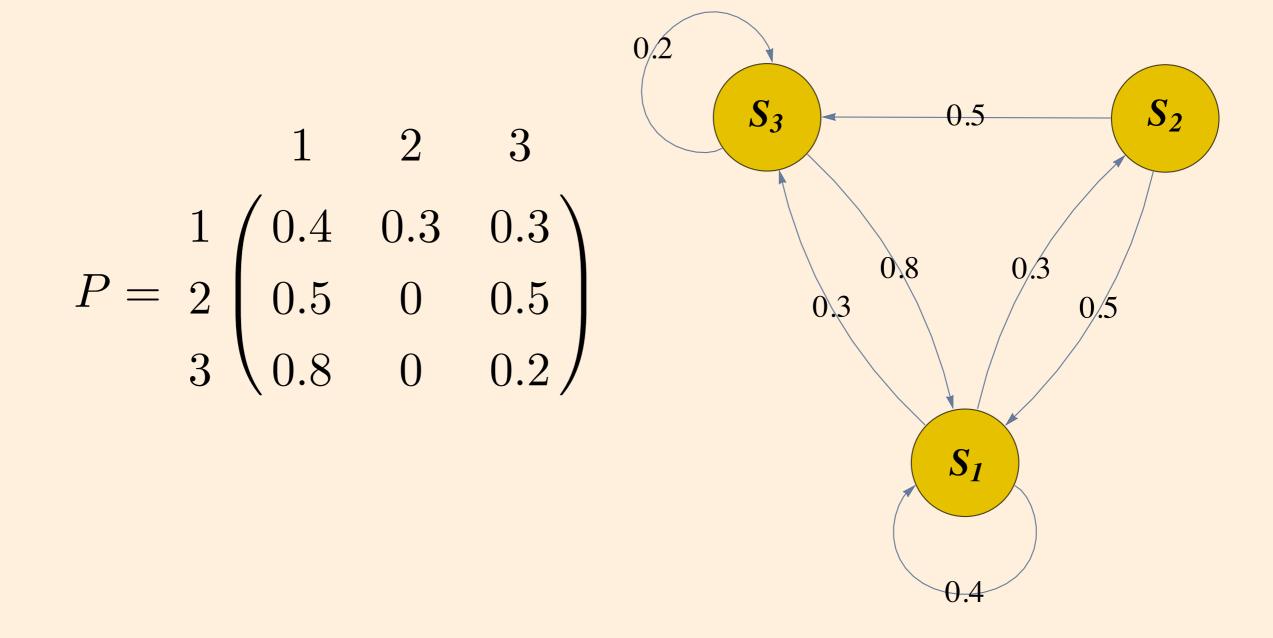
$$0.8u_1 + 0.6u_2 = u_1$$

$$0.2u_1 + 0.4u_2 = u_2$$

$$u_1 + u_2 = 1$$

$$\begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 3/4 \\ 1/4 \end{pmatrix}$$

# 次のマルコフ連鎖の定常確率を求めよ



### マルコフ連鎖のエントロピー

現在文字Xαである場合のエントロピー

$$H(X|X_{\alpha}) = -\sum_{i} q_{i\alpha} \log q_{i\alpha}$$

文字が生成される定常確率をuαとすると

$$H = \sum_{\alpha} u_{\alpha} H(X|X_{\alpha})$$

#### 2重マルコフ情報源

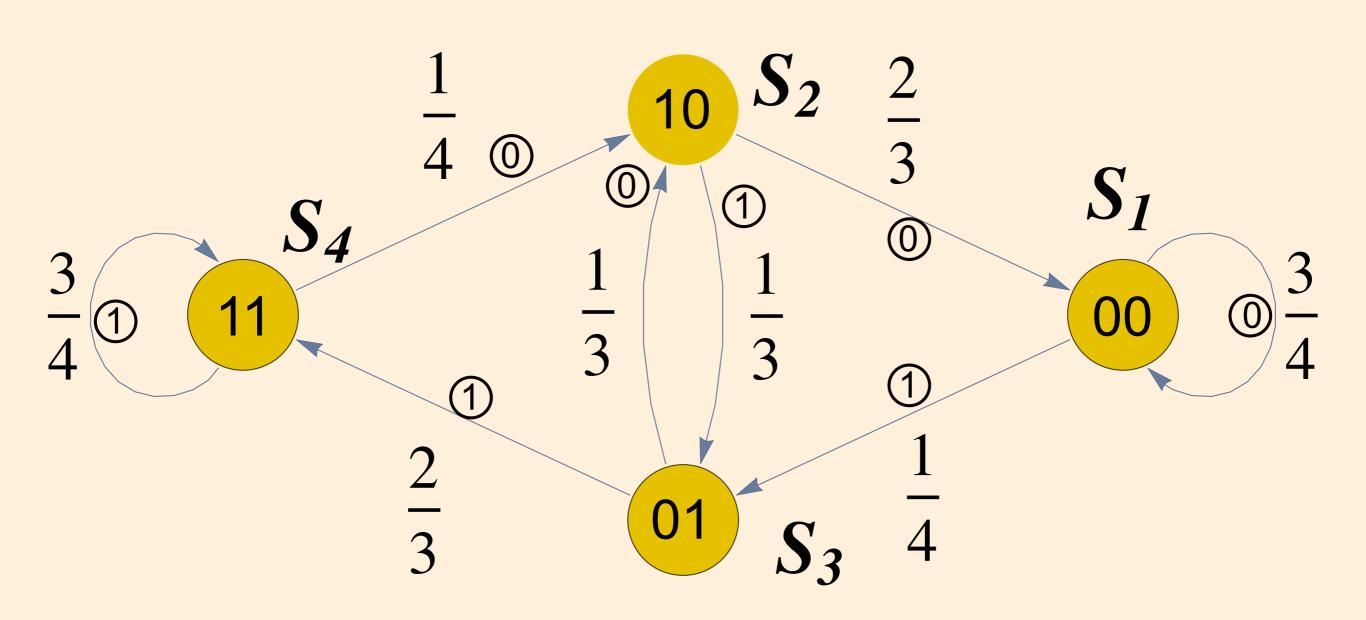
次に生成する文字の生起確率が以前に生成された2つの文字に依存する。

以前に発生した2文字をx1x2とすると、次に発生する文字x3の生成確率は

$$p(x_3|x_1x_2)$$

とかける。

$$p(0|00) = \frac{3}{4}, p(1|00) = \frac{1}{4} \qquad p(0|10) = \frac{2}{3}, p(1|10) = \frac{1}{3}$$
$$p(0|01) = \frac{1}{3}, p(1|01) = \frac{2}{3} \qquad p(0|11) = \frac{1}{4}, p(1|11) = \frac{3}{4}$$



$$P = \begin{pmatrix} S_1 & S_2 & S_3 & S_4 \\ S_1 & \frac{3}{4} & 0 & \frac{1}{4} & 0 \\ S_2 & \frac{2}{3} & 0 & \frac{1}{3} & 0 \\ S_3 & 0 & \frac{1}{3} & 0 & \frac{2}{3} \\ S_4 & 0 & \frac{1}{4} & 0 & \frac{3}{4} \end{pmatrix}$$

$$u^{\mathrm{T}}P = u^{\mathrm{T}}$$
 
$$u = (\frac{8}{22}, \frac{3}{22}, \frac{3}{22}, \frac{8}{22})^{\mathrm{T}}$$

#### 次に出てくる文字のエントロピー

・情報源が状態S1, S4にあるとき、次に出てくる文字のエントロピーは

$$H(\frac{1}{4}, \frac{3}{4}) = -\frac{1}{4} \log \frac{1}{4} - \frac{3}{4} \log \frac{3}{4}$$
$$= 0.811$$

・情報源が状態S2, S3にあるとき、次に出てくる文字のエントロピーは

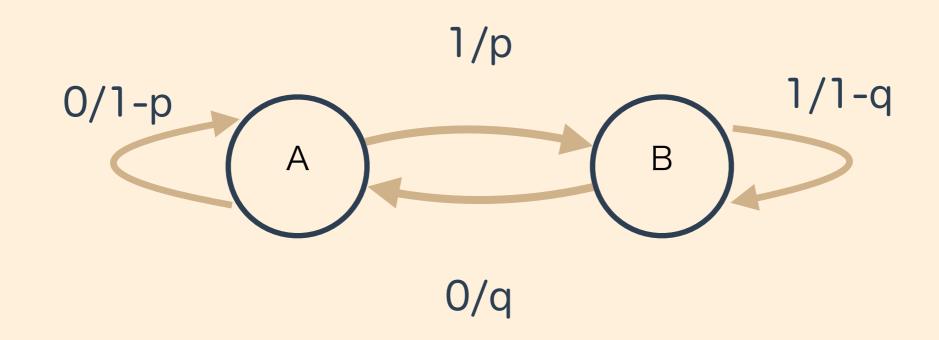
$$H(\frac{1}{3}, \frac{2}{3}) = -\frac{1}{3}\log\frac{1}{3} - \frac{2}{3}\log\frac{2}{3}$$
$$= 0.918$$

#### 情報源のエントロピー

▶ 情報源のエントロピーは、次に文字が出てくるエントロピーの期待値であるので、

$$H = \frac{3}{22} \times 0.92 \times 2 + \frac{8}{22} \times 0.81 \times 2$$
$$= 0.84$$

#### 演習問題2.2



- ▶ 2元マルコフ情報源について次の問に答えよ
  - 1.定常確率p(A)=p(0)とp(B)=p(1)の値を求めよ。
  - 2.このマルコフ情報源のエントロピーを求めよ。